



## 「教職カルテ」、学びのカルテ・教育支援システム

小峰 総一郎

	
カルテまとめ欄、教員コメント欄	履修状況欄（全学共通科目）

### 【教職カルテとは】

ゴールデンウィークに教職教員は学生の『教職カルテ』ファイルの閲読・コメントに追われている（2013年から）。教職履修学生4年生（全学で約500名）と3年生（約500名）が提出した「学びの記録」ファイルの閲読・コメント（4年生。3年生は閲読のみ）である。5人の教職教員で分担して、それぞれが教育実習前の4年生にコメント記入。その後3年生のカルテ閲読作業である（電子化前は手書きで腱鞘炎になった）。小中高教員の「通信簿」記入はこのように大変なのかと思うと共に、カルテを通して学生の顔が浮かび、彼らの成績や学修状況、教職への決意、ボランティア活動等の横顔が知れる。

### 【学生記入内容】

『教職カルテ』ファイルは次のようだ（B5ファイル、全30ページ程度）

1. 冒頭——「カルテまとめ」①教職志望理由（150字） ②こども理解（150字） ③教科・道徳指導観（150字） ④全学共通科目・学部固有科目と教職との関わり（150字） [いずれも4年生。3年生は①教職観（300字） ②こども理解（300字）]
2. 教職科目履修状況——全履修科目につき年次・単位・教員・成績を記し「学んだこと」、「更に努力すべきこと」を記述。3. 全学共通科目——同上 4. 学部固有科目——同上 5. ボランティア活動記録 6. 自己評価シート——教員に必要な資質能力16項目をセメスター毎に5段階自己評価。

### 【教員コメント】

- ・教職教員がこれを閲読し、60-80字程度のコメント記入、押印（2015年から教員コメントのみMANABOに電子化）。学部教員も閲読押印。実習前に返却し、4年秋学期「教職実践演習」で活用。
- ・「文は人なり」——教職カルテを読むと、彼らの学修状況、教職意欲、そして学力もおおよそ分かる。ボランティア——子どもボランティア、小中の学校補助者、部活指導等に関わっている者は教職志望が明確で学習意欲も高い。教員採用試験合格者も多い。特にスポーツ科学部の小免生が際立つ。

### 【学びのカルテへ——成果と課題】

- ・教職カルテを読み、彼らを励ますコメントを書いて行くと、学生個々人に対応した「顔の見える指導」に近づく思いである。ただ、4年秋学期の教職ゼミで再び学生と接するが、必ずしもカルテが十分に活用されているとは言えない。活用方法には課題も多い。学部教員・教職教員がともに学生指導に活用する道を探りたいものである。教員相互のコメント、評価観の交流も必要であろう。
- ・このような「学びのカルテ」の事例は、国際教養学部の教育にも、また全学共通教育にも何らかの参考になるのではないかと考えて、個人的に紹介した次第である。

（参考）教職カルテでは岡山大学の「教職ポートフォリオ」が、また「学びのカルテ」では九州工科大学の「学修自己評価システム」が大変参考になる。